



金沢兼六園徽軒灯籠

「新年度を迎えて」

代表幹事 塩山哲郎



新年早々巨大な能登半島地震が発生し甚大な被害となりました。会員の皆様から早々にご支援を賜り感謝申し上げます。今年の桜は開花が例年より遅れましたが、会員の皆様も満開の桜を楽しまれた事と存じます。西東京会のお花見は京葉会と共同開催で新宿御苑にて開催しましたが、天気にも恵まれ春の訪れを堪能致しました。

新型コロナ禍の長いトンネルを抜けJARP(日退協)の活動は活発さを取り戻しております。去る1月8日には銀座ブロッサムホールにて160名の福祉施設の方々をお招きして4年ぶりとなる本格的なチャリティーコンサートを開催しました。一般の入場者360名を併せて520名の規模となり西東京会の会員の方々も多数ご参加頂きこの通信をお借りして厚く御礼申し上げます

す。JARP は6月に創立40周年を迎えますが、社会貢献活動の一環として今年度もチャリティーコンサートの開催を予定しております。新年度の目標としまして前年度同様SDGs協働活動に加え「フレイル防止」活動を積極的に取り組んでいくことを掲げています。「フレイル」とは健康状態と要介護の中間にある虚弱な状態(老化)を指します。JARPは従来から実施している社会貢献活動、会員が参加するイベント、野外サークル活動、文化サークル活動、地域会活動はフレイル防止に役立っているものと思います。昨年9月に「いきいきシニア塾」を開設しましたが、この塾は会員並びに一般の方々を対象に退職後の時間をより充実したものにすするため開設したものです。5月20日(月)には創立40周年記念企画として脳神経外科医の篠浦伸禎先生を講師にお迎えして「今後の人生を幸せに生きるために」(認知症予防と改善)の講演会を開催致します。西東京会のイベントとして5月に「新緑の百草園散策」、8月には「寄席・落語鑑賞会」を企画しております。会員の皆様にはご友人、ご家族をお誘いあわせの上JARPのイベントにご参加頂きますようお願い申し上げます。

「暇つぶし」

小野利明



(藤沢周平・司馬遼太郎・池波正太郎)のうち、藤沢、池波の文庫本は今も本棚に残している。

コロナ禍の始まった頃から近所の文化センター付属の図書館で借りだして本を読むことを始めた。

購読している二紙に掲載された書評や広告の中から時代・歴史小説を「図書リクエスト(予約)カード」に記入し図書館に持ち込む。暫くするとメールで順番が回ってきたとの連絡が入る。同じ文化センターで6人

の老男老女で毎週やっている健康体操日の火曜日に受取る。新刊のハードカバーなので折り癖や汚れがほとんどなく、大事に読んでいる。

これはいずれ処分しなければならない蔵書を今以上に増やさないという「終活」の一環である。リクエストカードの提出が遅くなったり、図書館が一冊しか購入しない場合にはなかなか順番が回ってこない。そんな時は痺れを切らしてアマゾンに注文してしまう、、、お薦めの本を取り上げようと思っていたが紙面が尽きてしまった。それはまたの機会にしよう。

西東京会世話人一覧表

- 代表幹事 : 塩山哲郎
- 副代表 : 安藤隆夫
- 会計 : 遠間ひで子
- 書記 : 中村英明
- HP担当 : 岸伸和
- 広報 : 西村修
- 幹事 : 出射義幸、小野利明、谷合幸江
- 恒成憲一、西納政光、橋本隆夫
- 比留間文子、福島龍郎、湯藤哲、吉本優子

「南極・北極科学館見学とバーベキュー」

西村 修

天候悪化の影響もあり、参加者は十五名であつたが、十二月七日開催当日は打って変わって快晴で、この季節としては暖かく絶好のイベント日和になりました。当日は、十時半に多摩モノレールの高松駅に集合の後、南極・北極科学館を1時間ほど見学しました。昭和基地の歴史を知り、南極・北極の研究は地球温暖化のパロメーターと言われていますが、2012年の北極の氷の量は1980年の半分以下に減った様です。知っていたつもりですが「南極は大陸」で「北極は海」北極点は海に張った氷の上にある。北極の氷は海の水が凍ったのも、南極には富士山の高さを超える氷床があり、氷河などから氷山が出来る。二酸化炭素をはじめ「温室効果ガス」の削減は人類の課題である事を感じ、大変興味深く見学することが出来ました。その後、電車又は徒歩で昭和記念公園へ移動。特に徒歩組は昭和記念公園のイチョウの紅葉に目を奪われ、歩いた甲斐があつた模様。全員到着後、早速に乾杯して、焼肉パーティーの始まりです。この時期、既にバーベキューは季節外れの感がありますが、



「新宿御苑のお花見」

中村英明



今年の観桜会は京葉会との貴重な合同開催でもあり、何とか好天での開催をと大雨予報の3月26日から4月2日に延期。急な変更でしたが、17名が新宿御苑に集まりました。

雨の合間でのピンポイントの快晴日で、平日にもかかわらず相当な人出、海外からの方も多く大変な賑わいでした。新宿御苑には70種・約900本の桜がありますが、当日はまだ3~4割の桜の木に花がついた状況。日退協一行は大木戸門から入苑し、中央休憩所まで歩きながら一番立派な桜の下で一旦記念撮影。その後の自由行動では、58haもの敷地が広すぎて何処へ行って良いのか分からず、そのまま休憩所前の芝生に座り談笑を続ける会員の姿も多く見受けられました。

3時から全員でモダンな建物の温室を見学したことで何とか新宿御苑を味わえたと思います。お花見とは少し違



いますが・・・  
桜鑑賞後新宿三丁目まで歩き、ほとんどの参加者が東北居酒屋での懇親会に出席、ここでも大いに盛り上がり暖かく楽しい1日となりました。

「最近の作品」

遠間ひで子



長年所属していた書道展を辞めて10年以上になる。どこかに所属して出品をするという制約が無いと筆を持つ機会も遠のいてしまう。

昨年、勧められて瑞雲会書道展に公募で出品した作品です。運よく「秀逸」賞を頂き「会友」推挙されました。

「菜根譚」（さいこんたん）：宋の時代の儒学者 洪自誠の随筆集で中国古典の一つ。

「花看半開酒飲微酔」…何事もバランスで「丁度良いくらい」を目指しましょうということのようです。

花看半開酒飲微酔

「西東京会通信」編集責任者及び問い合わせ先

公益社団法人 日本産業退職者協会

「西東京会」代表幹事 塩山 哲郎

事務局 西村 修 090-8331-4448  
may40love@jcom.zaq.ne.jp